Unnan Community Foundation Annual Report 2021

公益財団法人
うんなんコミュニティ財団
2021年度
アニュアルレポート

役員・事務局の こんな雲南にしたい!!

市民の皆さんの「こんな雲南にしたい!」はこちら

2年目の2021年度は、事業指定助成事業（クラウドファンディング）、基金の設置運営事業、調査研究事業を主に実施しました。特に2021年7月に発生した島根県東部水害では、被災の当日に基金設置の理事会決議をし、翌日には全国コミュニティ財団との連携により水災害支援基金を設置させていただきました。このような柔軟な対応や全国組織の方々と連携をすることができるのも市民コミュニティ財団ならではの特徴です。
現在も新型コロナウイルス蔓延等でさまざまな分野で活動に制限があるのが現状ですが、引き続き柔軟に、「こんな雲南にしたい!」を一歩ずつ実現するための事業を実施していきます。


監事 足立尚吾

子供たちがこの地に産まれてよかったと思えるような、人の魅力があふれるまちになってほしい。


副代表理事 杉原雅也

誰もがいろんなことにチャレンジ出来て誰もがそのが背中を押してあげれる街。


副代表理事 小林直子

雲南が既に持っている豊かさを皆で再発見し、育んでゆける場所に！


代表理事 郷原剛志

雲南市の未来を、多様な価値観と共に創りたい。私は、まだまだ発展途上中！


事業部・総務部 木村和子

ほかの人の意見も、自分の意見も大切にできる雲南市になったらいいな。


事務局次長・プログラムオフィサー 飯間泰子

「こんな地域になったらいいな」とみんなが語り合っている街。


理事・事務局長・プログラムオフィサー 石原尚実

誰もがその人なりの関わり方で想いを実現できる雲南。


監事 石倉達也

自身の望む生き方を誰からも否定されない雲南に。


プログラムオフィサー（業務委託） 平井佑佳

叶えたいこと、ありたい姿に、その人らしく一歩一歩進んでいける雲南。


プログラムオフィサー（業務委託） 坂本逸志

多様な価値観や人、環境がありのまま尊重される、優しい雲南を目指したい。


事業部・プログラムオフィサー 守岡利栄

想いには価値がある。心をこめて伴走します。


事業部 マラー詩乃

夢を叶えたい市民と応援したい市民を結びます。月末木曜2時FMいずも聴いてね。

うんなんコミュニティ財団
UNNAN COMMUNITY FOUNDATION

うんなん コミュニティ財団とは

2020年4月に、642人の志金300万円をもとに設立しました。市民をはじめとした地域の主体が繋がり取り組むこと、地域に根ざすことを大切にした、地域の諸課題解決・価値創造の仕組みです。近年、市民一人ひとりの課題解決を支える意志により全国各地で「コミュニティ財団」が設立されています。

目的

うんなんコミュニティ財団では、地域のあらゆる主体を結びつける仕組みとなることで資源の循環を通じて社会課題の解決・改善及び地域の価値創造の取り組みのための基盤充実を図っています。
地域の将来を左右するような大きな課題からより日常的で身近な小さな課題まで、市民同士で支え合いながら、市民の自らの手で自在に解決していける未来を目指しています。

しくみ

地域のなかで資金をはじめとした人・物・情報などの資源を循環させる仕組みになることで、だれもがやりたいことを実現できる持続可能な雲南を作り、地域で支え合います。

主な事業

- 事業指定助成事業（クラウドファンディング）
- 課題共有会議事業
- 基金の設置運営事業
- その他当財団の目的を達成するために必要な事業

目次

02 ご挨拶
03 目次
04 うんコミュ式フローチャート
06 みんなでカンパ（クラウドファンディング）
08 2021年度に設置した基金
10 2021年度休眠預金等活用事業
12 環境プロジェクト
14 座談会1
16 座談会2
18 会計報告
19 財団設置基金寄付者の皆様

フローチャート

うんコミュ式

自分なりの関わり方を探そう！

実際にうんコミュの活動に関わりたくても、何をすればよいかわからないという方のために、フローチャートをご用意しました。このフローチャートで自分なりの関わり方を見つけてみてください！

\ START! /

実現したい・解決したい困りごとがある

「何かしたいけど、何をしたら良いかわからない…」という困りごとも含む

YES

①自分が実施者として活動したい
②応援したい

①

実現するための資金がある

YES

実施するために仲間が必要

YES

地域で活動する仲間に出会えます！

地域おせっかい会議に立案者または参加者として参加

NO

実現のために資金が必要な場合、
⑩自己資金や金融機関の融資
⑪共感を得て寄付を集めたい

⑪

地域密着型クラウドファンディングに挑戦する・寄付をする

⑧

基金に寄付をする

⑨

NO

連携・相談先などご紹介

⑩

②

⑥メンバーとして関わる
⑦寄付で応援する

⑥

③

NO

③メンバーとして関わる
④課題やテーマを見つけて応援したい
⑤仕組みそのものを応援したい

⑤

財団運営の寄付をする

④

地域密着型クラウドファンディングに寄付をする

⑦

⑧実行者がわかるプロジェクト
⑨関心のあるテーマ

うんなんコミュニティ財団 Q&A

Q クラウドファンディングに挑戦するための条件は何ですか？

A 申請については、以下に該当する個人及び団体が対象となります。

- 雲南市在住または、雲南市内での取り組み、または、雲南市や雲南市民の方々に貢献する取り組みであること
- 政治活動や宗教活動を主たる目的としない、暴力団又は暴力団若しくはその構成員の統制下にある団体ではないなど

また、クラウドファンディング実施の際には、一緒に活動する仲間が5人以上いることが必要です。

Q クラウドファンディングの実施に必要な手続きはどのようなものですか？

A HPに掲載している要項を読んでいただき申請書を事務局までご提出いただくか、直接事務局までお問い合わせください。申請者の方とプロジェクト内容の詳細を整理したあと、「地域おせっかい会議（※6ページ参照）」にプロジェクト起案者として発表いただきます。ご参加のみなさんからご意見や期待することなどを伺うことができるので、その場でプロジェクトを磨いていきます。また、仲間が5人未満の方は、プロジェクト共有とともに仲間募集もこの場で呼びかけることができます。
その後、仲間が5人以上いる方は磨かれたプランについて再度申請書を記載していただき、弊財団の審査会を経てクラウドファンディング開始となります。

Q クラウドファンディングの申請額に制限はありますか？

A 定めはありません。また、実施事業にかかる費用の100％を申請可能で、申請いただいた事業の執行に関わるものであれば助成金の使途に制限はありません。ただし、助成金額は実際に集まった寄付金額から運営経費・クレジットカード等の手数料を引いたものになります。

Q 基金の設置の条件や流れは？

A 個人・団体問わず設置することができます。基金のテーマ、助成先（実行団体）のイメージ、基金の金額、設置期間などを確認、相談させていただきながら、どのような基金にするかを決定します。ご入金等のお手続き後、選考委員による助成先選考を行い、実行団体に助成をさせていただきます。助成後は活動のご報告等について適宜ご連絡いたします。

Q 寄付は控除がありますか？

A 所得控除があります。
◎個人の場合
その年に支出した特定寄附金の合計額－2千円が寄附者の年間所得から控除されます。控除できる特定寄附金は、その年の総所得金額等の40％相当額が限度です。
◎法人の場合
その法人の資本金等の額、所得の金額に応じた一定の限度額までが損金に算入されます。
※税控除には確定申告が必要です。寄附金受領証を確定申告書に添付するか、提出の際に提示する必要があります。寄附金控除等の制度に関するお問い合わせは、お近くの税務署にお尋ねください。

2021年度に実施した事業指定助成事業等

みんなでカンパ（クラウドファンディング）

市民のプランを発表し仲間や資金を集める場の企画運営、発表に伴う相談支援、クラウドファンディングのサポートなど

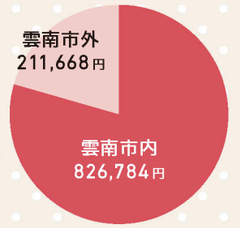
目指す状態 »

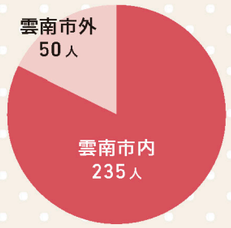
- プラン共有発表会を通じて地域の主体が繋がっている
- 諸資源（人・もの・資金・情報）が循環する基盤が構築されている
- プラン共有発表会後、繋がった人どうしで応援し合うことができている

事業の結果 »

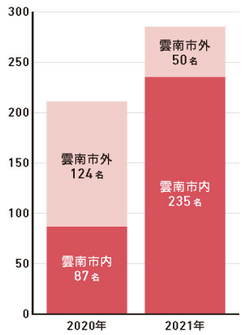
- プラン共有発表会開催 / 合計4回
- プラン共有件数 / 3件
- プラン共有発表会聴講参加者 / 延35名
  ※プラン共有発表会は地域おせっかい会議※1と連携
- 資金調達実施件数 / 3件

寄付総額 / 1,038,452円　　**寄付者 / 285名**

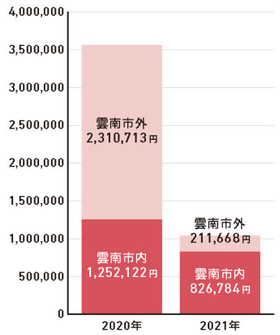




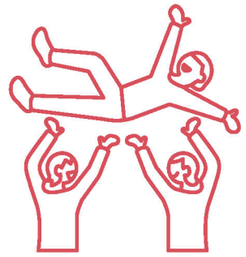
寄付者推移



寄付金推移



昨年と比較してプロジェクト規模の大小もあり、ご寄付総額は減少したものの、寄付者様の合計人数が74名増えました。特に雲南市民の寄付者様は昨年から148人増え、市内で応援し合う仕組みが構築されつつあると感じます。



※1地域おせっかい会議とは？



市民同士のアイデア共有や意見交換によってチャレンジを促進。

- 参加者：延1,345人（2020～2021年度）
- プロジェクト案件：41件（2020～2021年度）
- サテライト拠点：3箇所で新設・2箇所で自走（加茂・三刀屋2020～2021年度）

CROWDFUNDING 2021 クラウドファンディング実施者



みんなで島根の原発について話したい！

あげそげ！はっけんぐみ

寄付総額 / 127,582円　　**寄付者 / 23名**

目的　原発事故の当事者の声をきくなど、映画上映会や勉強会、意見交換会を開催することにより島根原発から30km圏内にも立地する雲南市の市民として自分ごと化してほしい。

助成後　2021年5月16日に「福島は語る」上映会を開催し70名以上の参加者があった。また、上映会前後に勉強会と意見交換会を開催し、ざっくばらんに話す機会を設けた。その後、関係のできた人たちと8月に講演会を開催、のちに再生可能エネルギーの会という別団体設立に繋がっている。

五感で感じる雲南ツアープロジェクト2022

五感で感じる雲南ツアー実行委員会

寄付総額 / 204,551円　　**寄付者 / 24名**

目的　雲南の魅力を知らずに市外に出て行ってしまう高校生を対象に雲南ツアーを実施し、地元の魅力を再発見することで市外に行ってもこれからも雲南に関わりを持ち続ける若い人を増やしたい。

助成後　2022年3月16日にツアーを実施。高校生の事後アンケートでは半数以上が雲南に帰りたい・今後も関わって行きたいという回答があった。また、次回の企画にも参加したいという参加者もあり次年度に向けて準備をしている。





元気と勇気を届ける落合思誉運応援プロジェクト

落合思誉運を応援する会

寄付総額 / 706,319円（2022年4月含）　　**寄付者 / 238名**

目的　「マウンテンバイクダウンヒル世界一」の夢に向かって頑張ることで、地元の方々・子どもたちに元気や勇気を届けたい。また、雲南市の自然と触れ合い、排気ガスを出さない自転車にも興味を持ってほしい。

助成後　4月・6月・7月大会の出場予定、またカナダのバンクーバーでの強化合宿への参加が決定している。また、テレビや新聞等のメディアを通じて情報を届けている。

2021年度に設置した基金

地域課題等に応じて基金の設置運営等を行う

2021島根県東部水害支援基金

2021年7月12日に島根県東部で発生した大雨による災害支援活動を行う島根県東部団体等の支援活動や活動復旧に対する助成を行う。

- 基金設置者：公益財団法人うんなんコミュニティ財団
  （協力：一般社団法人全国コミュニティ財団協会）
- 助成件数：4件（2022年3月31日現在）
- **寄付総額：1,013,039円**
- **寄付者：123名**



株式会社吉田ふるさと村（国民宿舎 清嵐荘）

活動内容 **避難所の運営**

助成額 **177,090円**

以前より清嵐荘が近隣の特定地域の住民に対しての指定避難所とされてはいたが、今回の大規模な水害に対しての取り決めがされていなく、指定避難所である清嵐荘としてどこまでの対応をどう取り組めばいいのか手探り状態だった。今回の災害をきっかけに市との連携を速やかに行えるように詳細な取り決めを交わし、相互の調整を行った。災害時への対応が明確になり今後、迅速な対応が可能となるのではないかと思う。



雲見の里いいし

活動内容 **避難所の運営、土砂災害等の復旧作業**

助成額 **21,400円**

今回の災害を経験して、日頃の地域のつながりがいかに大切か再認識した。これだけの災害で人的被害がなかったのは、ご近所の声掛けや見まもりのおかげだと思う。また、避難所でも復旧作業でも、地域の協力体制があった。こうしたつながりを今後も大切にしながら、防災を含めた地域づくりに取り組んで行きたい。
今後自主防災マニュアルの見直し、避難所備品の整備を進めたい。また、災害後に意見交換会や研修を行ったが、こうした活動は今後も継続していきたい。



中野の里づくり委員会

活動内容 **避難所の運営**

助成額 **28,427円**

中野地区防災委員会では10月21日に島根県防災危機管理課、砂防課、河川課の担当職員の皆様に来ていただき、防災委員約30名を対象として、避難情報の変更点、災害から避難する場合の注意事項、警戒レベル毎にとるべき行動等についての講演会とグループワークを開催した。次年度には防災委員以外の地域の皆様を対象とした同様の講演会の開催、避難所運営マニュアルに基づく防災訓練を実施し、豪雨災害に備えたいと考えている。



クマタニなかにわ部

活動内容 **防災×コンサート、炊き出し**

助成額 **96,500円**

大雨の際に河川の氾濫の危険がある地区において、高齢者や独居の人、子育て世代等、住民同士の関係性構築のきっかけとなる「防災×コンサート」、炊き出しなどを実施する。イベント開催までの準備において、住民の方々が打ち合わせに参加して意見交換をしたり、他の住民の方に声かけをして協力者を増やしたり、一軒ずつの参加の声かけや住宅上階の住民の方向けに廊下に椅子を置くなどの配慮をすることで、住民同士の繋がりが作られていった。今後、各自治会において防災の学びの機会を開催できるようにしていく予定。

たたらの里山クリエイター助成プログラム

雲南の山や森林の持続可能性を高め、多様な価値を生み出し、暮らしの安心安全を守るための山林の管理・活用の担い手を増やすことを目的とする事業に助成を行う基金。

- 基金設置者：特定非営利活動法人おっちラボ
- 助成団体：5団体



日本ミツバチを愛する人の集い

参加人数 **36人**

助成額 **299,786円**

事業

蜜蜂目線の森つくり・広葉林山菜

ニホンミツバチの保護育成、ミツバチが好む花が咲く木々を育てる。

今後の活動

2022年以降も参加者を募り実施し、面積を拡大していく予定。



いわくまを守る会

参加人数 **50人**

助成額 **146,324円**

事業

おとな（保護者）のいわくま探検

学校林の「いわくま」に保護者も入る機会をつくり、身近な森林に興味を持つ。

今後の活動

定期的に保護者がいわくまに足を運ぶきっかけになるよう、会を開催予定。



吉田 城治

参加人数 **6人**

助成額 **106,340円**

事業

裏山で行う森林スポーツ「RINJAK」（リンジャク）の開催

今後の活動

2022年5月に森林スポーツ2種競技開催予定。秋にはRINJAKの運営団体設立検討予定。2022年度中はプロモーション活動を実施する。



Community Nurse Company 株式会社

参加人数 **10人**

助成額 **97,550円**

事業

地域まるごと子育て縁参道とつながりをつくる

参道整備3回、危険箇所確認3回、子どもとの参道・参拝1回

今後の活動

子どもが安全に通ることができるように定期的に参道の整備を行う。また、大人や子どもと一緒に参道に関わってもらうイベントなどを企画する。



里山照らし隊

参加人数 **42人**

助成額 **244,000円**

事業

あわいの杜プロジェクト

会場整備4回、イベント実施3回（山の現状と将来のビジョンづくり・RINJAK共催・山仕事講習と実務合宿・森林体験会）

今後の活動

地域外の団体とフィールドを共有し共催しながら継続していく。

目指す状態 »

- 基金を通じて地域の主体が繋がっている
- 地域の資金や物が地域の中で活用されている

事業の結果 »

- 基金の設置 / 2件

2021年度 休眠預金等活用事業

東近江・南砺・雲南コンソーシアムによる休眠預金を活用した「草の根活動支援事業」の実施

東近江・南砺・雲南コンソーシアムとは？

雲南市、東近江市、南砺市の市域レベルの3コミュニティ財団で構成。地域的課題を、豊かで特色ある地域資源を活かしながら解決を目指す多様な主体並びにその取組みに対し、それらを市民自らが支える仕組みを構築することを通じて「未来資本」を創出し、地域の活性化及び循環共生型の社会づくりを全国に発信することを目的としています。

2021年度 新規採択事業

テーマ「社会的困難者を支えるローカルアクション」

助成期間：2022年4月～2025年2月
申請団体：6団体　採択団体：4団体

躍動と安らぎの里づくり鍋山

事業

走れ「よりそい号」
（高齢者の移動支援）

内定助成額　**7,980,000円**

事業対象者　鍋山地区内の65歳以上
（特に免許のない人）



「公共交通は時間に制約があり自由に移動できない」「家からバス停まで遠い」「タクシーは運賃が高い」などという住民の声を聞き、時間に縛られずにちょっとした距離の移動からサポートできる柔軟な移動方法として有償運送の計画をたて、移動の不便さから外出困難になる現状を変えていくことで、地域住民がもつと安心して暮らし躍動的な活動ができるように、65歳以上で移動に困っている方に地区内の移動支援を行う。

一般社団法人 umi
（旧 Community Careers）

事業

学生が希望を持てるまちのキャリアセンター

内定助成額　**5,474,400円**

事業対象者　地域社会で学び実践したい大学生



雲南市を実践フィールドに大学生へ地域社会と関わりながら学び成長する機会を提供することで、大学生は自身の将来への不安を払拭し地域社会に希望を持てるように、また大学生に刺激を受けた地域住民も成長し新たな活動が生まれていくような、互いに学び成長しあえる地域社会を目指す。
そのために、大学生・地域住民・事業者等へのヒアリングによるニーズ調査や、相談窓口を設置し不安を整理しながら一歩踏み出すためのサポート体制の構築、学生と地域住民が協働して課題解決に取り組む実践型インターンシッププログラムの企画運営、伴走支援などを行っていく。

あそびばキッチン・コンソーシアム
（あそびばキッチン実行委員会）

事業

生活不活発病を防ぐ食の見守りネットワーク

内定助成額　**12,782,500円**

事業対象者　三新塔・大東・温泉地区に暮らしている元気高齢者



今後、社会的、身体的、心理的に虚弱の状態が懸念される、現在元気な高齢者に、栄養教室や食品の移動販売を通じて、各々の身体状況に適した食を選ぶ力を養い、食生活を見守るアウトリーチ型の活動を実施する。特に持病がある方は服薬や治療と並行して食生活習慣の改善や栄養への配慮が必要なため、管理栄養士や食品を販売する事業者などと連携して接点を増やし、多職種のネットワークで食生活の改善を支援する。また本事業のネクストステップとして、意欲ある活動者を育成する講座や地元野菜の活用を通じて、本ネットワークに携わる人材を継続的に発掘する。

Community Nurse Company 株式会社

事業

地域まるごと子育て縁
（地域全体で子どもを育て、子どもが育つ中で大人も交流する）

内定助成額　**15,725,600円**

事業対象者　雲南市内在住で、近隣に血縁・地縁が乏しいために子育てのサポートを得にくい15歳以下の子どもがいる家族世帯



交流体験型施設「食の杜」の古民家を基点に、雲南独自のモンテッソーリ教育に基づいた保育や自然体験活動を直接対象者に提供するほか、地域関係者との多世代交流イベントを定期的に開催する。さらに、運営を一事業者に閉じず、地域に密着した保育事業を行ってきた社会福祉法人たんぽぽや子育て支援センター、「地域おせっかい会議」などとの連携を通じて、2年で木次エリア、5年で市全域をカバーすることを目指す。

目指す状態 »

- 社会課題解決のための自律的・持続的な仕組み構築
- 民間公益活動実施団体の資金的自立と事業の持続可能性の確保

事業の結果 »

- 申請団体 / 6団体
- 採択団体 / 4団体

2020年度 採択事業の進捗

テーマ「ローカルな総働で孤立する人を地域につなぐ」

助成期間：2020年3月～2023年2月
採択団体：4団体 ※中間評価を一部抜粋しています

事業・進捗の詳細はこちら

うんなん多文化共生まちづくり協議会

事業

外国人住民のためのうんなん暮らし支援事業



直接対象者　雲南在住の外国人住民・外国ルーツの子ども

事業の進捗

地域からの紹介で2名と繋がる、地域活動参加者40人、防災学習会参加者18人、イベント開催日の工夫による新規参加者4名、地域や団体との繋がり4組織など

一般社団法人 みかた麹杜

事業

地域の応援者を増やして、みらいのかのうせいをもっとたかめよう！



直接対象者　学校で学び辛さ等を抱える子どもたち

事業の進捗

講演等で新たに当事者4名と繋がる、個別学習支援実施2名、土曜日塾での支援10名、親の会LINEグループ27名、地域や団体との繋がり4組織など

3C「夢」CLUB 実行委員会

事業

個性を育む創造プロジェクト



直接対象者　社会教育にアクセスできない児童生徒

事業の進捗

学校を通じた広報、希望者への見学・体験会の開催、新規参加者10名、参加者の保護者への報告、社会教育体験プログラムづくり、地域や団体との繋がり7組織など

産前産後ケアはぐ

事業

地域みんなで産前産後・子育てを応援！！



直接対象者　産前産後の女性

事業の進捗

チラシ等での広報、LINEグループ123名（うち新規参加者26名）、はぐもぐ食堂・サークル活動・チャレンジ事業の実施、地域や団体との繋がり16組織など

環境プロジェクト







❶ 地域活動実践に関する調査

2019年の設立準備期から市民の方々から「こんな雲南にしたい」などのお声を伺い、2020年度にヒアリングも併せて実施し、雲南をつくっていくためにこれからも大切にしたい10のことを「うんなんローカルマニフェスト」にまとめました。

2021年度は「うんなんローカルマニフェスト」を、以下の目的で実施しました。①ヒアリング調査からの市民の方の声を実現するための対話・実践者同士が出会う場づくりとサポート。②①を通じて今後弊財団で提供する助成プログラム等の事業設計や申請団体へのサポートに活かす。

実施内容

うんなんローカリストプログラムの実施 / 全5回の対話回

雲南市民が主体となり雲南市にある文化や自然等の地域資源を読み解き、日々の暮らしと持続可能な未来を結びつける人材育成プログラム。

ローカリスト / 3名

ローカリスト：「こんな雲南にしたい」という各自の思いを起点として、市内外で活動する方。ローカリストプログラムでサポーター等と対話を繰り返し、動機ややりたいことの具体化を進めました。

ローカリストサポーター / 25名

結果

「うんなんローカルマニフェスト」を読み、他者の様々な意見を見聞きした上でローカリストが自身のプロジェクトを再設計することで「公益」や「公益を担いあう活動が生まれる環境」の視点が磨かれました。また、弊財団内でも市民の声をまとめた「ローカルマニフェスト」を定款等と同様に迷った際に立ち返る指針としています。

また、地域の活動主体が公益を担いあいながら持続可能な地域社会の形成に寄与する助成プログラムになっているか、事業設計時に助成する事業の目的や規模によってどのようなことを明文化するか、申請前後の申請者の方へのサポート等に活かしています。







❷ 環境への取組・実践の調査

財団設立時の意見や環境計画のアンケートから「環境問題に取り組むことが重要であることが分かるけれど、どのように実践したら良いのかわからない」等の声があり、特定のテーマ（資源循環）に対する現状把握と解決方法の方策の検討を図るため、市民主体の実践・行動変容がどのように行われるのか調査を行いました。

実施内容

ごみに関するヒアリング

ごみに関する勉強会の開催・コミュニティづくり / 4回

雲南市環境会議の開催（雲南市共催）/ 1回

LINEのグループチャット「うんなんエコ情報」/ 63名



結果

ごみ削減や資源循環等、課題解決のNPO法人や専門の担い手等が地域内に無い分野では、市民一人ひとりがその分野の中で身近と感じる事柄に関して気軽に話せる場が必要であり、加えて少しの挑戦の場があることが実践のきっかけとなりました。また、実践と並行してコミュニティ形成をすることにより、仲間同士で相談をしながら行動が習慣化していくグループもありました。

2022年度は地域自主組織や企業へのヒアリング調査を行い、各地区においてどのような実践が始められると良いか検討し、勉強会やワークショップ等実践の場づくりを行います。



1

座／談／会

地域密着型クラウドファンディング
「元気と勇気を届ける落合思誉運応援プロジェクト」

プロジェクト実施者
落合思誉運さん・落合百恵さん
（思誉運さんのお母様）

聞き手 / うんなんコミュニティ財団
飯間泰子・マラー詩乃

写真左から「うんコミュ」飯間、落合百恵さん、落合思誉運さん。

――クラウドファンディングを実施して大変だったなと思ったことはどんなことがありますか？

思 寄付者の皆さんへの御礼メールや手紙をお送りするのが大変だったんじゃないかな。

百 一つひとつ、チェックをしながら送っていました。失礼があったら行けないので。必死で…。間違えないように。笑

――素晴らしい！　ホームページ掲載の文章などもしっかり考えられていたという印章だったのですが、お二人で考えられていましたか？

百 そうですね。全体は私で、でも分からない部分もあるので、思誉運に聞いて。あとは作文用紙を買ってきて書いていました。思誉運が書いた文章の必要な部分を切り取って編集して。笑

思 作文はきつかったです。笑

――おせっかい会議に参加したときのＰＲも、しっかり話しておられましたね。

思 言葉で言うときは自分で考えて言うんですけど、「文章に書く」となるとちょっと苦手です。笑

――わかります。笑。他には何か思われたことありますか？

百 あとは、どれだけ多くの方に知っていただけるか？というところを思っていました。「クラウドファンディングをしています」という宣伝をする、色々なところに歩いて周るのが大変だったかなあと思います。

――学校にも行かれていましたよね。

百 そうですね。小中高校に行きましたね。声かけをして。

――色々なところに声かけをされて、皆さんからの反応はどうでしたか？

思 この間は松江で声をかけてもらいました。

百 病院でも声をかけてもらいましたね。名刺をいただいたりとか。

――有名人！　新聞とか取材とかたくさん受けられていたのでその影響もあったかもしれないですね。何と声をかけられるんですか？

思 すごいね、とか。頑張ってるね、という感じで。最近は木次線の駅員さんがよく声をかけてくれます。

百 私は「あそこで思誉運を見たよ」という目撃情報をよく言われます。笑

――目撃情報。笑。クラファンを実施して反響は大きかったですか？

百 大きかったです。感謝です。

――クラウドファンディングとは別ですが、スポンサーもたくさん付かれましたね。

百 はい。こんなにスポンサーについていただけるなんて感謝です。しかも大手企業さんで自分でもびっくりしています。成績を上げて、今後もスポンサーさんたちと繋がっていけたらと思います。

――ここからスタートで、広がりがまだまだありますね。クラファン実施を機会に出会った方はおられますか？

思 自転車仲間の輪が広がりました。ご寄付で県外に出る機会を増やすことができて、覚え切れないぐらい仲間が増えました。人脈が広がりましたね。

百 知名度も上がって、人と繋がることができています。

――すごいですね。うんコミュのクラファンで使い難いなとか、改善してほしい部分はありますか？

百 丁寧に教えてもらったので大丈夫でした。もちろん不安というか、自分がどれだけできるかは悩みながらでしたが、色々と教えてもらったので、動くことができました。

――百恵さんはこちらから「こうしてみてはどうか」とお話するとすぐに動かれていたので、本当にすごいです。クラファンやってよかったですか？

思・百 よかったです。

――ありがとうございます。よくぞうんコミュに来ていただきました。

百 感謝です。

――これからクラファンをやってみようかな？と考えておられる方に一言いただいても良いですか？

思 今回大成功で。周りの方でクラファンしたい人には、うんコミュでした方が良いと勧めたいです。

百 私もそう思いますね。ネット上のクラファンよりも、地域密着型のこちらの方が良いと思いました。悩んだ時には直接相談に乗ってもらえますし、的確なアドバイスもいただけますし。

――うわあ。ありがとうございます。

思 人同士で話し合ってできるのが本当に大事だと思います。

百 改めて、人との繋がりの大切さを知りました。

――本当に、人と人との繋がりの大切さが成功の大きな要因かなと思います。私たちも「やりたいけどどうしたらいいのかな」と言う人の一歩踏み出す機会をこれからもつくって行きたいです。落合さん、これからがまたスタートですね。これからも応援しています！

思・百 ありがとうございました！



落合思誉運さん
雲南市出身のダウンヒル自転車競技選手。松江養護学校乃木高等部在学中。自転車に乗るようになったきっかけは、中学2年生の終わり頃に母・百恵さんからサスペンション付きの新しい自転車を買ってもらったこと。愛称はしょんくん。
- 2021年第34回 全日本マウンテンバイク選手権大会ユース第1位
- 2021年Coupe du Japonナショナルランキング 第1位 他受賞多数



座談会のオフショット、親子そろって。



応援の横断幕の前で、愛車と共に。



たたらの里山クリエーター助成プログラム
「蜜蜂目線の森つくり、プラス広葉林山菜」

プロジェクト実施者
日本ミツバチを愛する人の集い　代表
大坂雅春さん

たたらの里山クリエーター助成プログラム設置者担当
特定非営利活動法人 おっちラボ
平井佑佳さん

聞き手 / うんなんコミュニティ財団
飯間泰子





写真左から「おっちラボ」平井さん、「日本ミツバチを愛する人の集い」大坂さん。

――改めてですが、この度ＮＰＯ法人おっちラボさんがうんコミュを通して立ち上げられた基金を活用されて、いかがでしたか？

大坂（以下「大」）　日本ミツバチの保護を目的とした活動は今までもずっと行ってきました。資金がないのであまり大きなことができなかったのですが、今回はこのような機会をいただいて活動の幅を広げることができました。

平井（以下「平」）　基金を活用して具体的にどんなことができましたか？

大　日本ミツバチを守るためにもたくさんの蜜源が必要です。その苗木をたくさん買わせてもらいました。活動期間の前半は、その苗木を植える山の整備でほとんど時間がとられてしまいました。

――私も現地を見学に行かせてもらいましたが、すごい広大な土地ですもんね！

大　私の仕事の休みが水曜日しかないし最初はほとんど一人で活動していたので、整備にかなり時間がかかってしまいました。

平　大坂さんは申請当初から「若い方とつながりたい（なかなかつながることができない）」という思いを持っておられましたが、この基金を活用した活動で新たな出会いはありましたか？

大　雲南市内で間伐活動をされている方との出会いがありました。彼女は、（他の申請者である）いわくまを守る会の方と一緒にうちの山を見に来られて、それをきっかけに今でも定期的に活動に参加してくれています。彼女が行っている間伐作業をうちの山を使ってやりましたよ。

――ステキな出会いがあったんですね。

平　いわくまを守る会の皆さんへ大坂さんが伐採された木を提供されたんですよね？

大　そうです、（おっちラボ主催で）他の申請者さんもあつまる研修会の時に、いわくまを守る会の人が「丸太がほしい」と言われていたので「どうぞどうぞ！」という感じでした。

平　この基金をきっかけに、同じ雲南市内で森林をテーマに活動される団体同士のつながりも生まれたのですね。

大　ほとんど私が知らない活動だったので、とても励みになりました。他の団体さんの活動拠点にも今後機会があればお邪魔したいと思っています。

平　今後も活動の予定はお決まりですか？

大　この基金を活用してたくさんの樹木を植えさせてもらいました。でも日本ミツバチの採蜜は木だけではありません。身近な草花も立派な蜜源なのです。（日本ミツバチのカレンダーを取り出して……）この花（ボリゴナム・ツユクサ）も好んでやってきますよ。

平　よく道端にも咲いていますね！



平井佑佳さん提供（峯寺遊山荘展望喫茶の側で咲くポリゴナム・ツユクサ）

大　こういう、庭先に生えて「邪魔だな…」と嫌がられる雑草も、日本ミツバチにとっては大切なものです。ここ（遊山荘）では極力草刈りもせず、大事に育てています。

平　そういう目線で見ると、雑草もありがたく感じますね。

大　そう、すべては循環しているんですよ。今後は植樹した木々の下の方に、こういう草花もたくさん生やしたいと思っています。

平　日本ミツバチの巣が一つあると、その直径3kmの周囲の木々草花の受粉は賄えると言われていますよね？

大　そうです。だからこそ巣箱は一カ所にたくさんではなく、いろんなところに点々と置いてあるのが重要なのです。集中して置いてしまうと、蜜の取り合いになってしまうでしょ。

――そう考えると、ミツバチはハチミツだけではなく、自然界でとっても重要な生き物なのですね。ミツバチの活動によって受粉が促され、実がなるんですもんね。

大　この基金の趣旨である「里山づくりの担い手育成」と「日本ミツバチのための蜜源づくり」はピッタリですもんね。（同じ「草の根活動」という意味）蜜源のための苗木をたくさん植えたいとずっと思っていたので、良い機会だと思いました。

――申請から基金活用までで、困った事などはなかったですか？

大　すべて丁寧に教えてもらったので、困った事はなかったです。

平　今回の助成プログラムを通じて、コミュニティ財団の印象に変化はありましたか？

大　コミュニティ財団については設立時から知っていました。当時は何をしている団体なのかいまいち分からないという気持ちでした。今回コミュニティ財団さんとのつながりを通して、地域内で活動しているたくさんの団体さんとつながることができましたし、私の活動も大きく進めることができました。もし身近で悩んでいたり「何かしたい」と思っている人がいたら、コミュニティ財団を紹介したいです。

――ありがとうございます。これからも大坂さんの活動を応援させてください。

大　ありがとうございます。



大坂雅春さん
雲南市出身。峯寺遊山荘支配人。生物・植物を守り、地球環境を維持していくには日本ミツバチを保護することが重要であると話をしていたことをきっかけに、10年前（2012年）から年1回「日本ミツバチを愛する人の集い」を開催。ミツバチの保護育成に努める。



平井佑佳さん
雲南市出身。基金の設置法人であるNPO法人おっちラボでは主に人材育成塾「幸雲南塾」の運営や塾生への伴走、関係機関との連携支援等に携わる。その他、ライターや劇場スタッフなどのスキルも持つマルチワーカー。里山の自然と着物とおばあちゃんが大好き。

貸借対照表（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	1,093,835	703,086	390,749
現金	6,705	6,272	433
普通預金	1,087,130	696,814	390,316
未収金	168,870	894,880	△ 726,010
流動資産合計	1,262,705	1,597,966	△ 335,261
2.固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2)特定資産			
特定資産	48,987,403	34,002,232	14,985,171
特定資産合計	48,987,403	34,002,232	14,985,171
固定資産合計	51,987,403	37,002,232	14,985,171
資産合計	53,250,108	38,600,198	14,649,910
Ⅱ 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0	882,043	△ 882,043
預り金	74,197	100,642	△ 26,445
未払法人税等	115,300	40,500	74,800
流動負債合計	189,497	1,023,185	△ 833,688
負債合計	189,497	1,023,185	△ 833,688
Ⅲ 正味財産の部			
1.指定正味財産			
民間助成金	45,231,925	29,526,042	15,705,883
寄付金	6,940,807	7,476,190	△ 535,383
指定正味財産合計	52,172,732	37,002,232	15,170,500
2.一般正味財産	887,879	574,781	313,098
正味財産合計	53,060,611	37,577,013	15,483,598
負債及び正味財産合計	53,250,108	38,600,198	14,649,910

2022年3月31日現在

うんなんコミュニティ財団応援基金

特定非営利活動法人おっちラボ　一般社団法人ゼロ・ウェイスト・ジャパン　竹本浩　小俣健三郎　狩野孝　小林彩　匿名希望12名（敬称略・順不同）

2021島根県東部水害支援基金

中間支援組織 ゆりラボ　特定非営利活動法人法人スサノオの風　公益財団法人 南砺幸せ未来基金　合同会社バックオフィスデザイナー　つちのと舎　株式会社農楽　前田眞　松葉忠　笑福亭笑利　永田奈津美　内田純　芥田真理子　角友歩　岡崎素也　小林有希子　山平綾也　志村はるみ　三瓶秀幸　やまもとのりこ　山根若子　安井章員　佐藤英代　高木奈美　川北秀人　景山泰佑　小俣三郎　浦井啓子　玉田勝司　渡部万里子　山内明子　若竹英一　矢野真由子　藤田智晃　遠藤健史　安久誠　吉野玄暉　武田宜裕　しばさとし　吉澤保幸　亀田秀一　百合澤順子　總山萌　内田宏美　川合佑汰　澤村脩　下中隆嗣　白川裕也　千野和子　今村昌弘　可児卓馬　渡邊享子　菅原勉　橋本竜一　西田恵　岩元暁子　田久保博樹　木村和子　中川玄洋　高山大祐　郷原剛志　高平亮　山口ジュン　毎熊浩一　志田淳　菅田日登美　山田健一郎　宮本裕司　小田千尋　小俣健三郎　安永佐和子　小林雅和　宝楽陸寛　匿名希望50名（敬称略・順不同）

ご寄付を募っています

弊財団は皆様からのご寄付を元に運営させていただいております。市内の資金をはじめとした資源循環、また、市外からの資源獲得のために必要な仕組みである「うんなんコミュニティ財団」運営へのご支援ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

ご寄付の方法

誠に恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。

ゆうちょ銀行振替口座でのご寄付

口座記号番号 / 01340-5-111708
口座名 / 公益財団法人うんなんコミュニティ財団

現金でのご寄付

雲南市木次町木次29番地まで、お持ちください。

銀行振込でのご寄付

山陰合同銀行　雲南支店　普通口座
口座番号 / 4502554
口座名 / 公益財団法人うんなんコミュニティ財団

クレジットカードでのご寄付（VISA / Masterカードのみ）

右記QRコード先「シンカブル」からお願いいたします。※決済手数料（5%+税）を除いた額が寄付されます。

うんなんコミュニティ財団
UNNAN COMMUNITY FOUNDATION

発行元　公益財団法人うんなんコミュニティ財団
〒699-1332 島根県雲南市木次町木次36
TEL・FAX / 0854-47-7787
Mail / info@unnan-cf.org
Web / https://www.unnan-cf.org/

この報告書はふるさと島根定住財団「地域づくり応援助成金」を
活用させていただき制作しています。